

6. スロットルグリップを閉じ、スタータボタンを押します。

エンジンが暖まっているときは、スロットルグリップを1/8から1/4ほど開き、スタータボタンを押します。

通常の場合これでエンジンがかかります。
(エンジンがかからないときは、67ページ記載の要領で確認してください)

7. エンジンがかかったら、チョークレバーを徐々に戻し、回転がスムーズになるまで暖機運転し、チョークレバーを完全に戻してからスタートします。

※この車は、セーフティスタータ機構を採用していますので、チェンジが入った状態では、エンジンは始動しません。但しこの状態でも、クラッチレバーを握ればエンジンは始動します。

注意

- ・スタータボタンを押して5秒以内でエンジンがかからないときは、10秒くらい休んでからまた押してください。
- ・これはバッテリー電圧を回復させるためです。無用の空ふかしはしないでください。
- ・ガソリンの無駄使いになるばかりでなく、エンジンにも悪影響を与えます。

注意

- ・排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。しめきったガレージの中や、せまい場所での始動は避けてください。